

環境・社会への取り組み

[環境]

環境マネジメント

- 第3次「環境取組プラン」を全項目で目標達成すると同時に、第4次「環境取組プラン」に向け取り組みに着手。
- 連結環境マネジメントの地域での取り組み強化を目的に、2004年3月期に欧州、2005年3月期に北米、2007年3月期に南米でそれぞれ地域環境委員会がスタート。

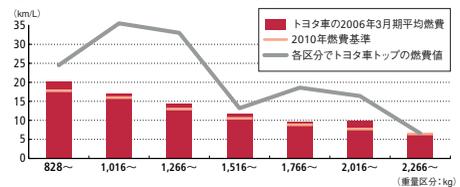


南米環境委員会
(2006年5月スタート
於ブラジル)

開発・設計

- 2010年燃費基準を全区分で達成。
- 超-低排出ガス車レベル以上の生産台数比率96%に到達。
- 2006年3月、新開発FR乗用車専用ハイブリッドシステムを搭載したレクサスGS450hを発売し、ハイブリッド乗用車の裾野を拡大。
- 2006年3月期の全世界のハイブリッド車販売台数は約26.3万台、累計で60万台突破。

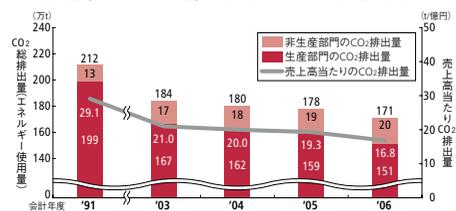
2010年燃費基準達成状況とトヨタ車の燃費実績



生産・物流

- CO₂低減等すべての目標をほぼ達成。
- VOC*排出量低減に精力的に取り組み、上塗りベース塗装の水性化を国内全ラインで完了。
- トヨタウェイの実践を織り込んだ環境マネジメントシステム「TOYOTA-EMS**」を明示知化、世界中のトヨタ事業体に展開。

CO₂排出量(エネルギー使用量)と売上高当たりのCO₂排出量の推移

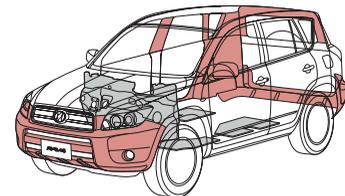


(注) 非生産部門で1991年度の排出量を把握できない拠点は、それ以降で把握できた最も古いデータを使用しました。

リサイクル

- 自動車リサイクル法システム運営への貢献、ASR***、エアバッグ、フロンのリサイクル等の着実な実施。
- 新リサイクル設計の新型車等への着実な展開。
- 環境負荷4物質のグローバルでの削減。
- 実用的解体技術のさらなる開発と市場への普及。
- リサイクル防音材RSPPの搭載台数が1,000万台突破。
- 使用済みハイブリッド車電池の回収・リサイクルの推進。

新型「RAV4」に採用したリサイクルに配慮した材料



※TSOP = Toyota Super Olefin Polymer
※RSPP = Recycled Sound-Proofing Products

* : VOC (Volatile Organic Compound)
** : TOYOTA-EMS (TOYOTA Environmental Management System)
*** : ASR (Automobile Shredder Residue)

[社会]

お客さまとのかかわり

- 品質優位性の飛躍的向上に向けCF(Customer First)活動を推進。

従業員とのかかわり

- 労働組合結成60周年、記念式典で社長が労使相互の発展を誓う。



60周年記念式典にて
(2006年1月)

- グローバル生産推進センター(GPC)本格稼働。



GPCでの研修

- 仕事と育児(介護)の両立支援制度の拡充。

- 事業所内託児施設「トヨタチャイルドケア ぶうぶパーク」を下山工場内に開設。



トヨタチャイルド
ケア
ぶうぶパーク

- 60歳以降の高齢者雇用の見直し。

ビジネスパートナーとのかかわり

- 「TOYOTAグリーン調達ガイドライン」更新。

- 全国トヨタ販売店「CSR宣言」。

- 海外代理店への販売・マーケティング方法の定着・改善を推進するGKC*活動。



TOYOTAグリーン調達
ガイドライン

地域社会・グローバル社会

- 世界初ドライバーモニター付プリクラッシュセーフティシステムを開発・搭載。



モビリティでの
講習

- 国内最大級施設「トヨタ交通安全センター モビリティ」完成。

- トヨタ白川郷自然学校の開校。



トヨタ白川郷
自然学校で体
験中の中学生

- 「愛・地球博」でボランティア活動。中越地震被災地児童等の招待も実施。

- 「企業の社会的責任(CSR**):環境に焦点を当てて」をテーマにステークホルダーダイアログを開催。

- アムラックス来場者累計3,000万人達成。



アムラックス
3千万人目
ご家族
(2006年1月)

*: GKC(Global Knowledge Center)

** : CSR(Corporate Social Responsibility)

詳細はSustainability Report 2006でご覧いただけます。(http://www.toyota.co.jp/SR/06repo)